

衆議院財務金融委員会ニュース

平成 20.2.20 第 169 回国会第 4 号

2月20日、第4回の委員会が開かれました。

- 1 平成 20 年度における公債の発行の特例に関する法律案（内閣提出第 2 号）
所得税法等の一部を改正する法律案（内閣提出第 3 号）
- ・額賀財務大臣から提案理由の説明を聴取しました。
 - ・福田内閣総理大臣、額賀財務大臣、森山財務副大臣、平井国土交通副大臣及び政府参考人並びに参考人に対し質疑を行いました。
- （参考人）日本銀行総裁 福井俊彦君

（質疑者及び主な質疑内容）

土井真樹君（自民）

- ・平成 20 年度予算が、メリハリの効いた予算となるようにどのような取組をしたか。
- ・プライマリーバランス黒字化達成の具体策及び長期的な財政健全化方針を示して頂きたい。
- ・オフショア市場における預金等の利子非課税措置について、その概要及び特例措置が失効した場合の影響等について伺いたい。

中根一幸君（自民）

- ・平成 20 年度予算において、徹底した無駄の排除をするためにどのような取組をしたか。
- ・プライマリーバランス黒字化達成に向けた額賀財務大臣の決意を伺いたい。
- ・平成 20 年度税制改正における研究開発税制の概要について伺いたい。

（ここから内閣総理大臣出席）

石原宏高君（自民）

- ・道路特定財源に係る暫定税率が廃止された場合の物価への影響について額賀財務大臣はどのように考えているか。
- ・道路整備事業に関する費用対効果について国土交通省ではどのように評価しているのか。
- ・税体系の抜本的改革時において内閣総理大臣は道路特定財源について見直す考えはあるのか。

大口善徳君（公明）

- ・税体系の抜本的改革について内閣総理大臣はどのように考えているのか。
- ・道路特定財源が減収になった場合、財政健全化の道筋に

はどのような影響が見込まれるか。

- ・道路特定財源の一般財源化については納税者の理解をどのように得ているのか。

平岡秀夫君（民主）

- ・財政健全化を踏まえ道路特定財源制度の見直しの議論が必要であると思うが、内閣総理大臣はどのように認識しているか。
- ・地方公共団体が道路特定財源の維持を求める背景について内閣総理大臣はどのように考えているか。
- ・所得税について、所得控除方式から税額控除方式への変更が必要であると思われるが、内閣総理大臣はどのように考えるか。
- ・日銀の多額な国債購入が与える金融政策への影響について、日銀総裁はどのように考えているか。

松野頼久君（民主）

- ・福田内閣総理大臣は、次期日銀総裁にどのような人物が相応しいと考えるか。
- ・道路特定財源に係る暫定税率の存続について、国民的合意は得られていると考えるか。
- ・道路特定財源の一般財源化方針を示した小泉内閣の官房長官であった福田内閣総理大臣としては、一般財源化したいというのが本音ではないか。
- ・租税特別措置を精査し、真に必要なものは税法本則に規定する等の整理をするべきではないか。
- ・肉用牛についてのみ、売却による農業所得の課税特例措置が講じられるのはなぜか。

佐々木 憲 昭君（共産）

- ・一般財源とは、使途が特定されないものと理解してよい
か。また、道路特定財源のうち一般財源化した部分を、
社会保障に使用した例があるか。

- ・道路整備費の財源等の特例に関する法律は、道路特定財
源を年々増額させるための仕組みではないか。

（ここまで内閣総理大臣出席）

2 財政及び金融に関する件

- ・額賀財務大臣、渡辺国務大臣（金融担当大臣）及び政府参考人並びに参考人に対し質疑を行いました。
（参考人）日本銀行総裁 福井俊彦君

（質疑者及び主な質疑内容）

大 島 章 宏君（民主）

- ・サブプライムローン問題が金融先進国である米国で発生
した原因及び損失額の状況について、渡辺金融担当大臣
はどう考えるか。
- ・サブプライムローン問題によって、国内金融機関におい
て多額の損失が発生したことに対する金融庁の責任につ
いて、渡辺金融担当大臣はどう考えるか。
- ・世界経済及び我が国経済の動向について、福井日銀総裁
はどのように考えるか。

佐々木 憲 昭君（共産）

- ・外需に依存する景気拡大により、大企業の業績が大幅に
改善する一方で、利益が家計に波及していない現状につ
いて、額賀財務大臣はどう考えるか。
- ・雇用者所得の伸び悩みの一因として、非正規雇用者の増
加が考えられるため、労働法制における規制緩和を見直
す必要があるのではないか。
- ・小泉内閣以降、国民に負担を強いる政策が実施されてき
たことについて、額賀財務大臣はどう考えるか。